



三次中央会報

ロータリークラブ

事務所/ 広島県三次市十日市東 1-16-19
TEL (0824) 64-1245
FAX (0824) 64-1245
E-mail m-c-rc@vega.ocn.ne.jp
http://mccr.server-shared.com

例会場/ 広島県三次市十日市南1-10-1
三次グランドホテル

例会日/ 月曜日 12:30~13:30

2020-2021 ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2710

- 本日のプログラム ゲスト講演/プログラム委員会
くらし看護専門家 けのひ代表 山西 友規様
- 次回例会日時 2021年5月24日(月)
- 次回プログラム 地区大会報告

会長 / 石田 光雄
幹事 / 大井 睦子

●2020~21年度 国際ロータリーのテーマ



ロータリーは会員の扉を開く

●2020~2021年度 三次中央RCスローガン
出会うの扉を開き、新しい仲間と
ロータリーをとことん楽しもう

■第1321回例会記録

- 日時.....2021年4月26日(月) 12:30~
- 点鐘.....会長
- 国歌「君が代」斉唱.....全員
- ソング「奉仕の理想」.....全員⁺

■開会挨拶.....石田会長

今月は母子健康月間です

皆さん こんにちは。三次市でもワクチン接種が始まり明るい日差しも増えてきたかなという気も致します。

皆様のお手元にも年の順に通知があらうと思います。テレビ・新聞に引っ張りだこの竹野会員、いかかがですか？ワクチン接種してこれで安心という実感ありますか？

ですが、とうとう3度目の緊急事態宣言が発令されました。4匹目のモグラをまた叩くのでしょうか？

先日の日経に「この一年、政府・自治体は何をやってきたのか？」という厳しい論評がありましたが、まったくその通りだと思います。

今年度の地区大会、ある程度は予想していましたが、リモートになりました。私、大井幹事含めて6人での参加予定でした。防府にまで行かなくてすみませんが、寂しい思いもします。

道中での「サルが木からすべったとか、茶碗が飛んできたとか、」そういうたわいのない話をしながら車窓に目をやり、ぼーとして目的地に着くのを楽しみにしていたのに残念です。知らない地を訪れるワクワク感が楽しみでした。

さて本日の例会は、地区研修・協議会報告です。

こちらリモート会議で開催されましたが、まるでその場にいたかのような臨場感溢れる報告、よろしくお願ひいたします。

今月は、母子の健康月間です。先日私の手元に年金請求書なるものが来ました。

あなたはもうすぐ63歳になるから、手続きをして下さいというものです。年金もらえるのは、嬉しいが、もうそんな年になったのかと、ちょっと寂しい思いもしました。

でも63歳まで大した病気もなく健康で楽しく過ごすことができたのは、母のおかげと思っています。母に感謝して本日の会長挨拶とさせていただきます。



■幹事報告.....大井幹事

- 次回例会は5月10日です。
- 三次ロータリークラブより創立60周年の記念誌が届いています。回覧いたします。

■出席報告.....野村委員長

- 第1319回 4月12日

会員数	40名	Make-up	0名
欠席	7名	出席合計	33名
欠席者の出席記録	2名	出席率	86.84%

- 第1321回 本日の出席は40名中28名です。

■次年度幹事.....杉谷会員

- 5月11日(火)午後7時より第2回次年度クラブ協議会を開催いたします。場所はファックスにてご連絡します。
- 5月17日(月)午後7時より第三回次年度理事役員会をグランドホテルにて開催いたします。該当者の方にはファックスにて連絡します。

■SAA.....中島SAA

- 会員誕生日・・中島清貴君(写真右)



- 会員ニコニコBOXご出宝 +

- 中島清貴君 ワインありがとうございます。今日、報告します。よろしくお願ひします。伏叩
- 竹野君 コロナワクチン摂取しました。会長さん、発表してくださってありがとうございます。伏叩
- 石田君 地区協議会報告お願いします。
- 平田君 空高く赤い鯉のぼりかけ昇れ
- 栗本君 本日、地区研修・協議会報告します。
- 井上君 地区協議会、欠席しました。
- 角谷君 本日、地区協議会報告します。
- 沈君 ZOOMでの地区協に参加しました。代理で後方の報告します。よろしく。

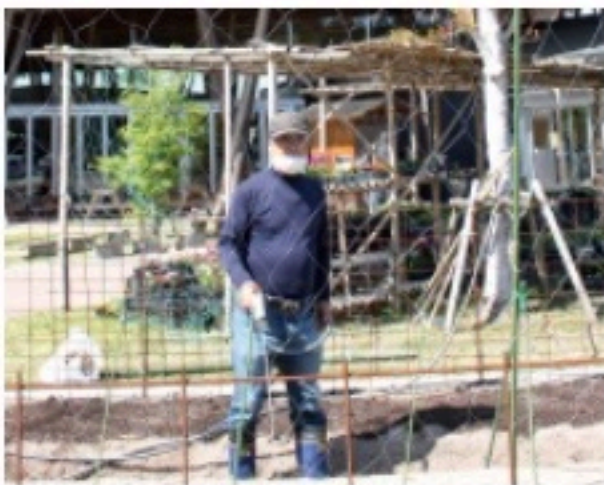
ニコニコBOX本日出宝額 14,000円

元廣会員トレッタ野菜畑



トレッタに行くたび、入り口の野菜畑の野菜の出来の素晴らしさに感動していました。ナントそれは、我が仲間、元廣会員作だったのでした。

26日朝はきゅうりのためのネット張りでした。例会が済んだらきゅうりの苗を植えるという事で早速カメラ片手に出かけ、バシャリ！ 手際のいい事いいこと、見ていてリズムを感じるものでした。作業の間にもトレッタにこられたお客さんから何度も質問の声をかけられ、いちいち丁寧に答えてられていました。その間も手は休む事なく。私も俄か知識を得ることができました。



写真解説

- 上：里芋、生姜畑
- 左：トレッタ野菜畑と元廣会員
- 右：植えられたばかりのきゅうりの苗 +

地区研修・協議会報告

栗本清秀



2021年4月25日(日)に国際ロータリー第2710地区2021-2022年度 地区研修セミナーをZOOMによるWEBセミナーで受けて参りました。

会場はサングリーン第3ビル第2教室をお借りし、沈副会長にご持参頂いた、事前に登録済みのパソコンとプロジェクターを繋ぎ、壁面に映写しての受講となりました。

出席者は次年度各担当をいただく杉谷会員、沈会員、信国会員、中島清貴会員、野村会員、武口会員、角谷会員、平田会員そして私の9名です。

14時から16時までの2時間休憩なしで次々と各部門の研修が行われましたが、会長幹事部門はありませんでした。

最後になりますが、1週間前から映写設備のセッティングをいただいた沈副会長に心よりお礼申し上げます。ありがとうございました。



クラブ管理運営委員会

杉谷優治



地区委員長より4項目の基本方針を示されました。

1項目：ロータリークラブ定款・細則の改定の支援

2016,2019年規定審議会において例会の出席および会員身分に柔軟性を認める件がございます。定款、細則はクラブ管理運営の基本です。各クラブの事情に沿った改定について検討が必要です。

2項目：会員基盤拡大と多様性の推進

会員基盤拡大について シェカール・メータ次年度RI会長は会員基盤を2022年7月1日までに120万人から130万人に増やすことを目指して率先して活動するよう呼びかけられています

多様性の推進について 杉川カバナーエレクトは、女性、高齢者、若者、障がい者、外国人、等お互いの多様性を認め合い、一緒に支えあう社会を目指していかなければならないと示されました。

3項目：例会における親睦と自己研鑽の強化

例会で、お互いが顔を合わせ親しく交わることで相互理解を深めかつ、お互いを高めることができる。

親睦を深めるために、特別の例会を開催する。また同好会の開催などを行う。自己研鑽のための現代的課題を共有する。

4項目：DX(デジタルトランスフォーメーション)の推進

例会を大切にしている意味において コロナ禍で通常の例会開催の困難な場合、ZOOMなどの利用により開催するバーチャルとリアルハイブリッド開催を検討する。

公共イメージ委員会

沈 勝義



広報委員会に代わって、公共イメージ委員会についての報告をいたします。

委員長は広島西南クラブの田中朋博さんです。

地区重点方針である「クラブの活動を一般の人々に向けた効果的な広報活動」や、IT委員会と連携した「DX推進の支援」、「ロータリーの友」の精読推進と「友」誌への投稿推進が重点活動です。

研修の中で出てきた「DX」という単語に聞き覚えはありませんが、デジタルトランスフォーメーションというもので、マイロータリーの登録を促進し、クラブセントラルへの情報発信や活用を促進すること。更にzoom等を利用した例会運営を支援することのようです。

また研修の中で田中委員長が、「理想的かつ効果的な広報の流れ」について、図解で解説された手順が解りやすかったので紹介します。

[スタート]奉仕活動の決定 → ニュースリリース作成 → 記者クラブへの投げ込み・マスメディアへの案内 → クラブHPでの告知・クラブSNSでの告知(シェア) → 奉仕活動 → 当日の様子をクラブSNSでリアルタイムに発信 → マスメディアの取材対応 → 当日の様子をクラブHPで紹介 → マスメディアによる記事化 → 当日の様子を「ロータリーの友」に投稿 → マスコミに記事化されたものをクラブHPで紹介 → マスコミに記事化されたものをクラブSNSで配信(シェア) → web上のアーカイブに掲載[ゴール]

今回はzoomによるweb会議だったので、いつものような往復の楽しみはありませんでした。せめてみんなで同時に参加したいと思い、サングリーン第3ビルの会議室でプロジェクター映像による研修となりましたが、個別に研修するよりは一体感があって良かったと思いました。

会員増強委員会

信国秀昭



シェカール・メータ2021-22年度RI会長の目標
2022年7月1日までに世界会員数130万人を目指します。現在の会員数は120万人。<みんなが一人を入会させよう>と提言されている。現在日本の会員数は89,000人です。

次に、会員増強委員会「地区委員会方針」について報告いたします。

会員増強委員会はカウンセラーに、西村栄時様(岩国西RC)、増強委員長に佐藤克則様(広島西南RC)が就任されておられます。

増強についての主な内容は・・・

- ① 退会防止の検討
- ② 会員増強指針として、会員50名以下のクラブは純増1名以上。50名以上のクラブは2名以上と掲げられました。
- ③ 女性会員や若い人の入会促進に努める。
- ④ 新入会員への丁寧なインフォーマルミーティングの奨励と合わせ、ロータリー基本情報の提供。

クラブ運営の基本は会員増強にあり、と常に発信されております。

私は、クラブ運営の中で最も重要な事は、会員相互の交流を通して情報交換が必要であると考えております。取り分けインフォーマルミーティングは、その良い機会です。楽しいクラブの運営や退会防止にも繋がります。そして、会員増強のための「行動計画～立案～実行」へ向けて取り組んで参ります。以前にも行いました増強チームを構成し、新入会員候補を推薦し、例会に招き、増強につなげていきたいと思っております。会員の皆様のご理解とご協力をお願い致しまして報告といたします。

奉仕プロジェクト委員会

中島清貴



奉仕プロジェクト委員会(職業奉仕・社会奉仕・国際奉仕)の報告をします。カウンセラーは畫田眞三PG(福山RC)で、職業奉仕委員長は岡本倫明様(広島西南RC)でした。

基本方針

職業奉仕委員会

1. 「ロータリアンの行動規範」と「四つのテスト」を基盤に会員の職業倫理の向上を目指し、奉仕活動に取り組む。
2. ダイバーシティに対する理解を深めるため、行政や民間で実践している担当者を講師に迎え、卓話の開催をする。
3. ロータリアンの原点である職業奉仕の理念の推奨
※ここで例年と違うところは、ダイバーシティ(多様性)についてが付け加えられたことでしょう。

社会奉仕委員会

1. 年度中に少なくとも1回、実践的かつ行動志向の「ロータリー奉仕デーのイベント」を計画・開催し、行動人としてのロータリー会員の姿をアピールする。他団体との連携も、視野に入れて、インパクトのある奉仕イベントの実施支援をおこなう。
2. がん予防推進委員会と連携して地域社会でも予防普及の推進とモニタリングをおこなう。
3. 地元のニーズに取り組むクラブ奉仕プロジェクトの支援

国際奉仕委員会

1. 韓国第3690地区との交流推進(予定)
2. 国際大会(米国・ヒューストン)への参加推進
3. グローバル補助金申請クラブに対し、申請手続き等で財団委員会との連携

どの委員会においてもコロナの影響が多く、中止や延期、再検討となったイベントが多かったと報告がありました。それを考慮して、重要度の高い献血事業や小学校での出前授業を行うところがあったそうです。以上、これらを踏まえて次年度の基本方針を決めていきたいと思ひます。よろしくお願ひいたします。

青少年奉仕委員会

角谷俊典



次の世代、若い人々への奉仕には、長年に亘ってロータリープログラムの重要な一部で、未来を担う若い職業人や、学生などに様々な出会いと、人生を楽しむ機会を提供する場としてロータリーを活用していただきたい。それを受けて地区青少年奉仕委員会は求められている意義、目的そして現在の課題点を理解して実りある行動にしていきたい。という事です。

基本方針

1. 他団体と協力し、若者のための機会を広げることについて、クラブに推奨
2. ロータリー指導者養成プログラム(RYLA)開催と支援
3. ローターアクトクラブ(RAC)に対する支援
4. インターアクトクラブ(IMC)に対する支援
5. 青少年交換活動の充実
6. 各ロータリークラブの若者の交流と連携

上記のRYLAについては2022年5月21日(土)～22(日)に尾道ふれあいの里にて、尾道RCにより予定されています。

ローターアクトクラブの現況ですが、広島に3クラブ、山口に3クラブ計47名が加入しております。

青少年交換については、2020-21年度は新型コロナウイルスの影響のため派遣受入とも中止、ただし合格者一名は、2021-22年度に延期予定で待機、RIから2022年6月末まで中止の決定。2022-23年度募集については、5月開催予定の委員会協議の上決定、となっております。

新型コロナウイルス感染防止のため、奉仕活動の制限を受ける事も考えられますが、今まで以上にリモートなどを活用し、ロータリアンが青少年奉仕を通して若い世代を理解、応援し、より良い未来を彼らと一緒に創造していきたい。自らも成長しながら、委員会活動を推進していきたい。それがロータリーの発展に繋がっていくものと思ひます。

高齢化しつつある会員組織を考える中で、こうした若者への活動参加を呼びかけることが、会員増強やクラブ維持につながると思ひます。今後の青少年奉仕活動の重要性を感じました。

ロータリー財団

野村明弘



米山記念奨学会

平田博紀



松本会員に代わり報告させていただきます。

委員長は呉南の山本会員です。基本方針は各寄付目標の達成です。

- 1、年次基金の推進 150\$以上/一名
- 2、恒久基金（ベネファクターの推進）
一名以上/クラブ
- 3、ポリオプラス基金の推進 35\$以上/一名
（ポリオ根絶に向けて強力的に推進）

と、なっております。変更点としては

- ①ポリオプラスへの寄贈に対する上乘せが、50%に引き下げ
- ②グローバル補助金のためのDDF（地区財団活動資金）と、WF（国際財団活動資金からの上乘せが80%に引き下げ
- ③シェアシステムの計算が運営費として5%引かれた後で、DDFとWFに二分される
- ④未使用DDFの繰越は五年間のみとする

基本方針

次年度RI会長シェカール・メータ氏のテーマは「奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために」です。そして、ガバナー信条は「みんなのためになるかどうか。未来のためになるかどうか。」- 多様性を受け入れ、相互理解を深めよう-です。まさしく米山の神髄です。日本独自の制度である米山記念奨学会も第2710地区としての「適応力を高める」ために組織を改革して4年目にはいります。昨年からの世界的な新型コロナウイルス感染症拡大により引き続き異なる対応が求められております。こういう時こそロータリーの理想とする「平和のための国際理解と親善に寄与すること」を目的とした米山梅吉氏の崇高な精神が重要になると思います。

今こそ、ロータリー活動の原点に立ち戻り、米山記念奨学会事業を理解し、多様性を受け入れ相互理解を実践し事業を推進していきます。

1. 米山記念奨学会事業についての理解促進
2. 米山記念奨学会への寄付推進
寄付目標額 1人16,000円以上
特別寄付への協力推進
3. 奨学会の受け入れ支援
4. 世話クラブ・カウンセラーへの支援
5. 奨学生、学友との交流ホームカミング制度の活用、
米山親善大使の活用
6. 新型コロナウイルス感染症拡大の影響による奨学生
に及ぶ影響を最小限にする対策